



新型コロナワクチン接種について

当別町では、ワクチン接種を希望する65歳以上の高齢者の接種が進んでおります。7月21日に12歳以上の町民に向けて接種券を郵送しましたので、ご自身の接種時期がくるまで、大切に保管してください。

ワクチン接種に関する情報は
こちらのホームページで
ご確認ください



ワクチン接種の優先順位

①基礎疾患を有する方

高齢者施設等に従事されている方

国が定める優先順位に基づき、高齢者の接種が完了した後、基礎疾患を有する方と、高齢者施設等に従事されている方のワクチン接種を進めていきます。

・基礎疾患を有する方

インターネット予約の際に基礎疾患があることを入力するか、コールセンター予約の際に基礎疾患があることを伝えてください。特別な書類の提出は、必要ありません。

・高齢者施設等に従事されている方

接種を受ける際に施設から発行された証明書が必要となります。証明書をお持ちでない方は接種を受けられない可能性があります。

②それ以外の方

町独自の優先順位を設定

基礎疾患を有する方、高齢者施設等に従事されている方の接種が完了した後、町独自の優先順位として、次の方の接種を行います。

- ・障がい者施設に従事されている方
- ・教育施設等に従事されている方
- ・保育所、幼稚園、児童福祉施設等に従事されている方
- ・町内交通事業所に従事されている方

優先順位の高い方のワクチン接種が完了した後、年齢の高い方から順にワクチン接種を開始します。

なお、優先順位の詳細や予約開始日、接種実施日については、ホームページで随時お知らせしますので、ご確認ください。

接種を希望する方に 準備いただきたいこと

基礎疾患があり、かかりつけ医がいる方は、ワクチン接種を受けてよいか必ず相談してください。かかりつけ医が町外の方は、町外の病院でも接種が可能です。まずは、かかりつけ医にご相談ください。

新型コロナウイルスワクチン接種のご案内(接種券)に、緊急時につながるご家族などの連絡先を記入してください。

予約完了した接種をキャンセルする場合は、必ず新型コロナウイルスワクチン接種対策室(0133-25-2667)までご連絡ください。

当日キャンセルされる方は、ワクチンの無駄を減らすためにも、当別町ワクチンコールセンター(0570-081-892)まで必ずご連絡ください。

お問い合わせ

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター

内容 ワクチンの副反応等に関すること

電話 0120-306-154

時間 9時00分～17時30分(平日・土日祝)

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

内容 ワクチンの有効性・安全性に関すること

電話 0120-761-770

時間 9時00分～21時00分(平日・土日祝)

■相談・問合せ先

新型コロナウイルスワクチン接種対策室

(ゆとり内 ☎ 25-2667)



新型コロナウイルス感染症対策

国は、北海道に対し6月21日に緊急事態宣言を解除し、まん延防止等措置区域として7月11日まで感染防止対策を進めてきました。その間、全道の新規感染者数は、札幌市を含め、減少傾向が続き、入院患者数も減少し、医療提供体制も改善傾向が続きました。

緊急事態宣言時に比べて、感染状況は大きく改善し、医療提供体制への負荷も徐々に低減していますが、ま

た徐々に変異株による感染事例が増えています。オリンピックや夏休み、お盆等で人の往来が増えることで、更なる感染拡大が懸念されています。

北海道では、まん延防止等重点措置終了後のリバウンドを防止していくため、8月22日まで夏の再拡大防止特別対策を実施していますので、町民の皆さんのご協力をお願いします。

夏の再拡大防止特別対策

・「3密（密閉・密集・密接）」、「感染リスクが高まる『5つの場面^{*}』」等の回避や、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指消毒」の基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

※飲酒を伴う懇親会等、大人数（5人以上）や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり

・札幌市との不要不急^{*}の往来は控える。

※具体的には、医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものを除き、往来を控えてください。なお、必要な外出や移動であっても、混雑している場所や時間を避けて行動してください。

・重症化リスクの高い方^{*}と接する際は、基本的な感染防止対策を更に徹底しましょう。

※高齢者、基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方

・「緊急事態措置区域」及び「まん延防止等重点措置区域」との不要不急の往来は極力控える。

緊急事態宣言区域：東京都、沖縄県

まん延防止等重点措置区域：埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府

・道外への移動が避けられない場合は、体温チェックや必要に応じてPCR検査を受けるなど、体調確認の徹底をお願いします。特に、発熱等の症状がある場合は、移動を控えてください。

・その他府県への移動は、「3密」の回避を含め、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、大人数（5人以上）の会食は控えるなど慎重に行動しましょう。

※7月26日現在の情報です。最新の情報は町ホームページ等でご確認ください。

変異株への対応

感染が全国に広がっている変異株は、これまでのウイルスよりも感染力が強いという特徴があります。3密（密閉・密集・密接）がそろう場面だけではなく、1つの密でも感染リスクがあります。基本の感染症対策をより念入りに、手洗いを徹底し、マスクを隙間なく着けてください。

喫煙室は濃厚接触の場

密閉された狭い空間で大勢が喫煙する喫煙室は、典型的な「3密（密閉・密集・密接）」です。互いにマスクをせず、1メートル以内の距離で感染者と数分間過ごすことは濃厚接触に当たります。ニコチンは免疫機能を低下させるため、喫煙者は感染症にかかりやすく、感染すると重症化しやすいとの報告もあります。

新型コロナウイルスに感染しないためにも、今こそ「禁煙」しましょう。

新型コロナウイルスワクチンについて知って欲しいこと

(厚生労働省・首相官邸より)

ワクチン接種によるメリットが副反応のリスクより大きいため接種をお勧めします

新型コロナウイルスワクチンは、2回の接種によって約95%の高い発症予防効果が認められています。(インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%)

接種後には、体がワクチンに反応して、接種部位の痛みなどの局所反応や、発熱、頭痛などの全身性の反応が生じる可能性があります。これらの反応は、1回目より2回目の方が多く、年齢が上がるにつれて頻度が低くなるようです。接種は体調が悪くない時に受け、接種後はゆっくり過ごすようにしましょう。接種後の痛みや発熱に対しては、市販の解熱鎮痛剤で対応できます。

継続的に安全性を確認し、安全性に関する情報を提供

新型コロナウイルスワクチンの承認では、数万人規模の比較試験等で、接種後に重大な副反応がないことを確認しています。

ワクチンの承認後も継続的に安全性を確認するため、重篤な症状が発生した場合は、報告を受けて専門家が評価します。この報告の中には、ワクチン接種後の持病の悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれますが、透明性をもって全て公開しています。

国内外で、注意深く調査が行われていますが、ワクチン接種が原因で、何らかの病気による死亡者や不妊が増えるという知見はこれまで得られていません。

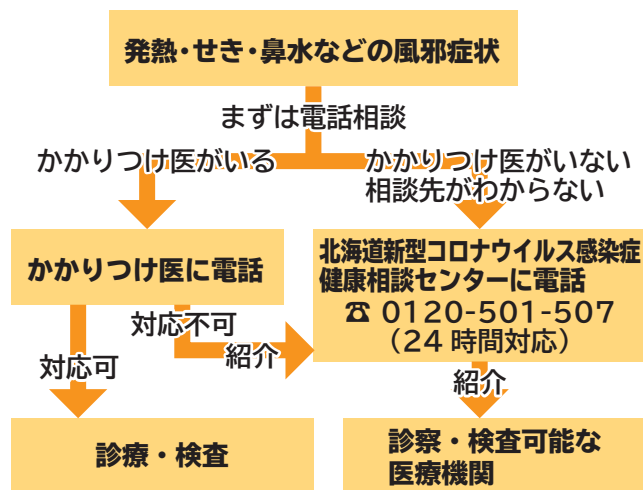
ワクチン接種後もマスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかは、まだ十分にはわかっていません。

また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくこととなりますので、感染予防対策を継続していただくようお願いします。

風邪症状のある方は、他の患者や医師・医療従事者への感染を防ぐため、電話で相談ください

とうべつ版 電話による相談・診療・検査の流れ



受診の際には必ずマスクを着用しましょう

少なくとも、以下のいずれかに該当する場合にはすぐに相談ください

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方[※]で、発熱やせきなど比較的軽い風邪症状がある場合 ※高齢者や糖尿病、呼吸器疾患(COPD等)のある方や透析をしている方
- 上記以外の方で、発熱やせきなど比較的軽い風邪症状が続く場合 ※症状が4日以上続く場合や、解熱剤を飲み続けなければならない方はすぐに相談ください。
- 妊婦の方も、早めにご相談ください。
- 小児は、かかりつけ小児科医院に相談ください。かかりつけ医が決まっていない場合は、下記の「北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター」へご相談ください。

北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター
☎ 0120-501-507 (フリーダイヤル) 24時間対応

■問合せ 保健福祉課健康推進係
(ゆとり内 ☎ 23 - 4044)